

全国各地で「19日行動」！

安保法制廃止を求め、集会・デモ

「駆けつけ警護」付与反対！

南スーダンから撤退せよ！

青森 青森空港前で「自衛隊員の命を守れ」と市民ら連呼

南スーダンPKOに派兵される陸上自衛隊が出発した20日、青森空港近くの道路わきで、日本平和大会青森県実行委員会など安保関連法に反対する市民ら約70人が抗議行動を行いました。

参加者は朝から行動し、りんごをモチーフにした「守ろう平和憲法」と書いた手作りのプラカードや、「青森から青年を南スーダンに送るな」などと大書した横断幕を掲げ宣伝しました。隊員らの出発時刻に合わせ、自衛隊員の命を守れ」「9条を守れ 平和が一番」などとシュプレヒコールを繰り返しました。

弘前に住む坂本恵津子さんは「友人の息子が自衛隊員。彼女は『息子もいずれ派遣されるのではないかと不安。私は表立った行動はできない分、反対を訴えてくれてありがとう』と言われました。南スーダンには万が一のために隊員用のひつぎを持っていくと聞いたが、本当に無事で帰ってきてほしい」と訴えました。

娘2人を連れて抗議活動に参加した女性（34）は「人口に占める自衛隊員の割合が極めて高い青森で、自衛隊の任務が変質していく危険性を多くの市民が感じ始めている」

長野 「戦後続いた日本を壊させない」と学生決意

19日、長野市内で「戦争させない11.19集会」が開催され、南スーダンPKOの「駆けつけ警護」閣議決定撤回と安保法制廃止を求め、上千歳広場で集会を開き、その後JR長野駅周辺をデモ行進しました。80人を超える市民が参加しました。

集会で信州大学の男子学生は、「駆けつけ警護」によって同世代の自衛隊員が相手の命を奪ったりするのは許しておくことはできないと述べ、「戦後続いた日本を壊させないため自分たちの手で政治を変えたい」と呼びかけました。母親の立場で発言した宮澤里恵さんは、南スーダンに派遣される自衛隊員の母親に思いをはせ「71年前の戦争で息子を戦地に送った悲痛な思いを繰り返してはならない」と語りました。教員の菅沼達勇さんは、

日本共産党のなかせ由希子衆院1区候補は、衆院選に向け野党共闘を強めて、暴走する安倍政権を一日も早く退陣に追い込むために頑張ると決意表明しました。また、民進党県連代表の羽田雄一郎参院議員、社民党県連代表の竹内久幸県議がメッセージを寄せました。



兵庫 神戸大丸前で緊急抗議宣伝行動

19日昼、全国に呼応し、兵庫憲法共同センターとして二回目のリレートークを行いました。

雨上がりの神戸大丸前の通行人は普段の数倍の賑わい。「戦争法廃止、南スーダン派兵やめよ」のリレートークの行動には10の労組・団体から30人、土曜ということで参加者の子どもさんもチラシを配布してくれました。

市民の関心は高く、署名板の前で長話しをする方も多く、1000円札のカンパを寄せてくれた女性もいました。

兵庫労連北島事務局長の司会で、成山労連議長、堀内日本共産党衆議院議員、岡本年金者組合委員長、森民医連事務局、柿本新婦人平和部長、宮田革新懇事務局長、津川憲法共同センター代表がそれぞれの立場からスピーチしました。各弁士は、11月15日閣議決定・11月18日新任務付与など緊迫した南スーダン情勢を解りやすく語りました。

「南スーダン現地は、大統領派・副大統領派による大規模な戦闘が続き、国連関係者も襲われている」、「自衛隊創設以来、初めて殺し殺される事態になりかねない」、「稲田防衛大臣は記者会見で『責任は』と問われ『私が取る』と言ったが、若い自衛隊員が殺し殺されたら辞任で済む話だろうか」などとリアルに語りかけました。

司会の北島兵庫労連事務局長は、地震や災害で懸命に支援してくれた自衛隊員が戦地で殺されるような事態を招かないよう、皆さんと一緒に戦争法をストップさせましょう、と訴えました。



千葉 「自衛隊員の家族の立場に立ったら、本当に許せない」と署名



安保法制（戦争法）の廃止をめざす市民団体「安保法制廃止！立憲主義・民主主義をとりもどすオール千葉県の会」は19日、JR千葉駅前、戦争法の発動を許さず、自衛隊の南スーダンからの撤退を求める宣伝・署名行動に取り組みました。約50人が参加し、日本共産党の斉藤和子衆院議員、民進党の小西洋之参院議員も訴えました。

県内の戦争法廃止を求めて活動する各団体の代表が「憲法違反の戦争法は廃止しかありません」「南スーダンPKOの駆けつけ警護、TPPがそのまま進んだらどうなるのか不安でたまりません」などと訴えました。また、斉藤議員は「戦争法廃止、南スーダンへの自衛隊員の派遣は許さないという声をあげよう」と話し、署名への協力を呼びかけました。

署名に応じた伊藤静子さんは「安保法で南スーダンに派遣される自衛隊員の家族の立場に立ったら、本当に許せないという思いで署名しました」と話し、船橋市の女性は「憲法9条からかけ離れて戦争ができるようになっていく気がします。安倍政権は暴走しているので怖い」と語りました。

大阪 「南スーダンPKO・自衛隊は撤退を！」 寝屋川市民大集合

19日、「南スーダンPKO・自衛隊は撤退を！」と、寝屋川市民大集合が寝屋川市駅と萱島駅前の2か所で行われ、61人が参加し、自衛隊の南スーダンからの撤退署名が62人分寄せられました。「ストップ安保法制—生かそう日本国憲法」の横断幕をかかげ、「無謀なPKO派遣をやめさせよう」のビラを配布しました。

葦田正幸寝屋川戦争法廃止連絡会代表が「本日の行動は、南スーダンから自衛隊を撤退させ、戦争法を発動した安倍自公政権を倒して政治を変えるために、大阪12区の野党の皆さんにも呼びかけ、市民と野党の共闘を大いに進めるために開催しました」とあいさつしました。

参加した自由党の真白リョウさん(12区総支部長)は「戦争法なんて大げさだと思いませんか、安倍政権は次々と危険な方向に向かっています、私は自由党ですが共産党・市民団体の皆さんと意



見は少しずつ違っても戦争法には反対、廃止するために手を取り合って頑張りましょう」と話しました。また、共産党の松尾まさのりさん(12区国政対策委員長)は「駆けつけ警護付与を15日閣議決定、18日命令と、戦後始めて自衛隊が海外で殺し殺される危険がせまっています。海外で自由に戦争ができる国にする安倍政権を倒すために、この12区でも野党共闘の実現に努力したい」と訴えました。

続いて、加藤昌孝革新懇代表、中川正彦西南九条の会、山口美津子新婦人会長、太田徹共産党市議、「安倍首相は危険極まりない、隊員を日本へもどすために声をあげよう」と次々と訴えました。

南スーダン 駆け付け警護に手当6000~7000円 隊員が公務中に死亡した場合は6000万円!

政府が南スーダンのPKOに派遣する陸上自衛隊施設部隊に新任務として付与する「駆け付け警護」で、出動した隊員を対象に支給する手当を創設することが明らかになりました。困難な任務に携わることを重く見た措置として、1回につき6000~7000円で調整し、手当創設に合わせ、近く関連政令を改正するとしています。

南スーダンで道路整備などに当たる隊員には現在、「国際平和協力手当」として1日1万6000円を支給しており、駆け付け警護を実施した場合は新手当と合わせて2万2000~2万3000円を支給する見通しです。派遣期間を通じての支給ではなく、出動ごとに支給するとしています。



自衛隊員への手当は、東日本大震災で東京電力福島第1原発にヘリで放水した隊員に支給した1日4万2000円が最高額。海外派遣では、人道復興支援として実施したイラク南部サマワでの宿营地外活動に支給した1日2万4000円が最も高い。南スーダンへの派遣では、外務省が最も危険度の高い「退避勧告」を出している事情や新任務の重要性を踏まえ、駆け付け警護に出動した場合の手当の総額をイラク派遣に準じたものとする方針です。

一方、隊員が公務中に死亡した場合に遺族に支給する功労金の賞恤(しょうじゅつ)金の引き上げは見送り、現行のまま6000万円とするとしています。

「殺し殺される」危険性が高いことを証明することにもなる措置ですが、何より「南スーダンから撤退せよ」、「これ以上派兵するな!」の声をあげるときです。

ご案内

DVD「高江一森が泣いている」上映&スピーチ

スピーチ 毛利孝雄さん(沖縄大学地域研究所特別研究員) / 元山仁士郎(元SEALS琉球、高江のヘリパッド建設に反対する若者有志の会)

■日時・会場=12月7日(水)18:30~/文京区民センター3A ■参加費800円

■主催 解釈で憲法9条壊すな!実行委員会

高江オスプレイ・パッド、辺野古新基地の建設は許さない!東京集会

■日時・会場=12月10日(土)13:30~/日比谷野外音楽堂・銀座デモ

■共催 基地の県内移設に反対する県民会議 / 「止めよう!辺野古埋立」国会包囲実行委員会 / 戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会

戦争法違憲訴訟 第2回口頭弁論/報告集会

■国賠訴訟12月2日10時30分東京地裁、報告集会13時30分参院議員会館101会議室

■差止訴訟12月21日10時30分東京地裁、報告集会13時30分国会内

「市民連合」の取り組み

■全国交流会11月26日10時30分~全日通会館

■衆議院選挙決起集会12月21日18時30分~北とぴあ

秘密保護法廃止、共謀罪阻止のとりくみ

■秘密保護法廃止6日を忘れない国会行動12月6日12時~衆議院第2議員会館前(予定)

■共謀罪ストップ市民のつどい12月6日18時45分~文京区民センター3A 平岡元法相語る